

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 1 月 24 日 (2013.1.24)

【公開番号】特開 2012-97534 (P2012-97534A)

【公開日】平成 24 年 5 月 24 日 (2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2012-020

【出願番号】特願 2010-248391 (P2010-248391)

【国際特許分類】

E 0 4 G 5/08 (2006.01)

【F I】

E 0 4 G 5/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 4 日 (2012.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

足場において対向する両横架材間に架け渡された足場板の、その長手方向に直交する側端部側に発生する隙間を塞ぐように取り付けられる足場板隙間プレートであって、足場板とほぼ同じ長さの水平板部とこれの幅方向基端側下部に設けられる側枠部とで形成され、水平板部が足場板の側端部上面に載置されるプレート本体と、前記側枠部の両端に突設され、対向する両横架材に係止される係止用フックと、プレート本体を所要の隙間塞ぎ位置にロックするロック手段とからなり、ロック手段は、水平板部にその幅方向にスライド可能に取り付けられ、足場板の側端部に当接されるスライド金具と、水平板部の下方でスライド金具に上下動自在に支持される支持金具と、支持金具の上部に上向きに突設され、水平板部にその幅方向に設けた長溝に沿って移動可能なロック用ガイドピンと、このガイドピンの両側で上方へ突出するように支持金具に一体に設けられ、前記長溝の両側に夫々一定ピッチで配設した複数のロック孔に係入可能な両側一対のロックピンと、支持金具とスライド金具との間に介装され、ロック用ガイドピンが長溝から上方へ突出し且つ両ロックピンが所要のロック孔に係入したロック状態を維持するように支持金具を上向きに付勢するバネとからなるもので、ロック用ガイドピンをバネに抗して手で押し下げることによりガイドピンの頭部を長溝に係合させたまま両ロックピンをロック孔から抜いてロック解除するようにしてなる足場板隙間プレート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するための手段を、後述する実施形態の参照符号を付して説明すると、請求項 1 に係る発明は、足場において対向する両横架材間に架け渡された足場板 4 (図 9、図 10 参照) の、その長手方向に直交する側端部に発生する隙間を塞ぐように取り付けられる足場板隙間プレート 1 であって、足場板 4 とほぼ同じ長さの水平板部 5 とこれの幅方向基端側下部に設けられる側枠部 6 とで形成され、水平板部 5 が足場板 4 の側端部上面に載置されるプレート本体 7 と、前記側枠部 6 の両端に突設され、対向する両横架材 3, 3 に係止される係止用フック 8, 8 と、プレート本体 7 を所要の隙間塞ぎ位置にロックす

るロック手段 9 ( 図 2 参照 ) とからなり、ロック手段 9 は、水平板部 5 にその幅方向にスライド可能に取り付けられ、足場板 4 の側端部に当接されるスライド金具 10 と、水平板部 5 の下方でスライド金具 10 に上下動自在に支持される支持金具 11 と、支持金具 11 の上部に上向きに突設され、水平板部 5 にその幅方向に設けた長溝 12 に沿って移動可能なロック用ガイドピン 13 と、このガイドピン 13 の両側で上方へ突出するように支持金具 11 に一体に設けられ、前記長溝 12 の両側に夫々一定ピッチで配設した複数のロック孔 14 に係入可能な両側一対のロックピン 15 , 15 と、支持金具 11 とスライド金具 10 との間に介装され、ロック用ガイドピン 13 が長溝 12 から上方へ突出し且つ両ロックピン 15 が所要のロック孔 14 に係入してロック状態を維持するように支持金具 11 を上向きに付勢するバネ 16 とからなるもので、ロック用ガイドピン 13 をバネ 16 に抗して手で押し下げることによりガイドピン 13 の頭部を長溝 12 に係合させたまま両ロックピン 15 , 15 をロック孔 14 , 14 から抜いてロック解除するようにしてなることを特徴とする。